

昭和53年1月1日発行

# 元氣のふるさとせん

No.244

発行 富山県入善町  
編集責任者 企画財政課長 寺林次信  
印刷 池原印刷所

人口	29,090	(+10)	29,044
男	13,828	(-2)	13,795
女	15,262	(+12)	15,249
世帯数	7,073	(+2)	7,042
( ) 内は前月比			前年同月

12月1日現在住民登録



## ぼくたちの年だ

古松の松を背に

年々生まねの門山へ向かう年

53年新年

昭和53年1月1日

# 町の発祥を探る



じょうべのま遺跡 柱穴の列

当時、礎石の上に柱を立てるのは、寺院など特別の建物だけで、平城宮でも掘立柱が一般的。

じょうべのま遺跡では、1棟で約200平方メートルのものが最大。

## じょうべのま遺跡――

**墨書土器を発見**

じょうべのま遺跡は入善町田中の海岸近くにあり、田中久栄氏や竹内慎一郎氏の調査で戦前から遺

本月は午年にちなんで、全国でただ1つ木製の馬形が出土した、県指定史跡「じょうべのま遺跡」を取り上げてみました。舟見野台地の縄文遺跡を除いてじょうべのま遺跡は、古代から現代に続く入善町の歴史の基点、町発祥の地と言えるかと思います。

## 平安時代の 庄所跡

これらの遺物は、主として建物の柱を立てた穴に埋っていたもので、その柱穴を調査し測量した結果、多いところでは5回も建て替えがされ、約100年間にわたって続いた壮大な建築遺構であることがわかりました。

ここから出土した土器の種類、建物の配置からみて、この遺跡は今から約1千年余り前、日本の歴史でいえば奈良時代の末から平安時代の初めにかけて栄えた庄園の

跡のことは知られていました。それが昭和45年の発掘調査で、大きなかきな建物跡と「西庄」と墨で書かれた土器が発見されたことから、にわかに注目を浴びることになりました。というのは、これが当時県内最古の文字と判明したからです。

それ以後、昭和49年まで計5回にわたる発掘調査が行われ、考古学上貴重な資料がたくさん発見されました。その中には、文字の書かれた土器、木簡、北陸で唯一の風字硯、木製の馬形などがあります。



風字硯(ふうじげん)

墨をする硯で「風」という字にしているところから名付けられた。地方での出土は珍らしい。

## 黒部四十八ヶ瀬 を開拓

では入善町の歴史の上ではどのよつた意味を持つのでしょうか。

庄所(管理するところ)の跡だらうと考えられます。

## 地方史研究の メツカ

当時、日本や富山県の様子はどうなものだったのでしょうか。

奈良時代といえば「青丹よし、奈良の都は咲く花の匂うがごとく今盛りなり」と歌にもあるように

平城京が栄え、東大寺、西大寺など大寺院が勢力を誇っていました。

その後、都は京都に移され、平安時代となりますが、当時の繁栄を支えていたのが、地方にある庄園からの年貢や進物であったわけです。特に北陸地方には東大寺と

西大寺の庄園が多く、今は残された寺院の財産目録などから、東大寺領越中国新川郡丈部庄(はせつ

かべのしよう)、大敷庄、西大寺領佐味庄などがあったことが知られています。

中央の様子は、大寺院の記録も



馬形(うまがた)

石や土器の馬形は水神の使者としてまじないに使われたといわれる。木でつくったものは全国初。左側が頭部で、目やくつわが墨書きされ、背中にはくらがおかれ、尾はピーンと張っている。

私たちの住む黒部川扇状地は昔から「黒部四十八ヶ瀬」といわれるよう、黒部川の氾濫に苦しめられ開発が非常に遅れたところと考えられています。

年代のはつきりしたものでは、

大治年間(西暦1126~30年)の文書に「東大寺領入善庄」がでてきたことが、記されていますが、入善庄が一体どこにあったかは全くわかつていません。

このじょうべのまは、それより

200~300年も古い時代に、扇状地の

先端に大きな経済力を持った庄園

が存在したことを見出しました。また、この遺跡の東側約100メー

トルの地点からは、これより少し年代の新しい遺跡があり、当時と

「×十月七日×

裏



木簡 (もっかん)

当時紙は貴重品で、日常文書は木片に文字を書いていた。ときには遺跡の性格を決定する最重要資料。

この木簡出土により、東大寺領入善庄との関連が明確になった。

## 辛未年元迎ス 入善町長

柚木栄吉

上の重要性はもちろんではあります、小中学校の整備は今後の大きな課題であります。

明けましておめでとうございま

す。  
年頭にあたり、私はまず、大きな期待で迎えたこの昭和53年が、町民各位によりまして駿馬のごとく飛躍する年でありますようお祈りいたします。

本町にとつて生活環境、福祉向

所存でございます。  
ともあれ、現今、「不況」「円高」という社会情勢をみますとき決して楽観を許されません。町民各位の深いご理解と英知を結集し、創意と工夫を重ねて対処してまいり

## 入善町議会議長

上野幸一

援をいただき、ありがとうございます。本年も一段とご協力下さいますようお願いします。

昨年は、構造不況に始まり、政

府の景気浮揚策が効果を上げぬ内に、円高の波が押し寄せ、日本経済にとり、大変な年であります。

こうした困難な状況にありながら、入善町の産業は、全般にわたって、住民の勤勉な働きと、高度な技術の蓄積により、活動が停滞するようお願いします。



ることが少なかつたのであります。町におきましても、黒東小学校の建設を始め、農村公園の建設、道路舗装の進展など、各方面にわたり着実に進行し、まことに喜ばしいことであります。

たとえ、既知のものであつても、黒東小学校の建設を始め、農村公園の建設、道路舗装の進展など、各方面にわたり着実に進行し、まことに喜ばしいことであります。

最後に、この遺跡の保存に多くの協力をいたしました地元の皆様、土地改良区を中心とする関係機関に厚く感謝申し上げます。



表

「文告旌旗丸上白米五斗」

木簡 (もっかん)

当時紙は貴重品で、日常文書は木片に文字を書いていた。ときには遺跡の性格を決定する最重要資料。

この木簡出土により、東大寺領入善庄との関連が明確になった。

昭和53年1月1日



小摺戸地区での様子

町では新年度の予算編成を前に各地区10か所で町政懇談会を開催しました。地元では区長を中心に町議、各団体の代表など多数参加され、町側から町長のほか関係課

長が出席、和やかな中にも真剣な討議が交されました。

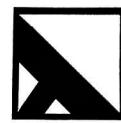
最初に、柚木町長から昭和51年度の決算のあらましを説明、健全財政を貫きながら計画的に行政を進めていることが述べられました。また各地区からは、住みよい生活环境の整備や教育福祉の充実について要望や質問が出されました。

## 提出された 主な要望

- ▼道路の舗装を早く
- ▼海岸の護岸
- ▼小、中学校の改築、統合
- ▼用排水路の整備、改修
- ▼早期除雪と融雪工事
- ▼地区公園の建設
- ▼防火用水の確保や貯水槽の設置
- ▼ガードレールや保安柵の設置など

## 舗装について教育問題

### 町政懇談会から



## 入善町職員を 募集

町では、来年度に次の職員を採用する予定です。

志願者の受付は1月10日から1月20日までに文書人事課で行います。詳しいことは役場文書人事課(電話72-1100内線37番)へお問い合わせてください。

### ①一般事務職員 — 男子2名

受験資格は昭和53年3月大学卒業見込みの者で入善町に在住するもの

### ②土木技術職員 — 男子1名

昭和53年3月大学土木学科を卒業見込みの者で入善町に在住するもの。

### ③保健婦 — 女子1名

昭和53年3月に保健婦養成学院等を卒業見込みの者、かつ保健婦資格を取得見込みの者で入善町に在住するもの。

### ●採用1次試験

昭和53年1月29日(日)

午前8時45分~午後2時

### ●試験場

富山市芝園町3の1の26

県立富山中部高等学校

## 黒東小備品にと50万円

### 柳沢さんがご寄付

来年4月の開校が待たれる黒

東小学校の教材備品にと、一宿の柳沢徳之進さんから町に対し50万円のご寄付がありました。これは、先きに亡くなられた

亡父周造さんの供養にとのお申

出によるもの。町では本人のご希望により、国旗掲揚塔を設置することにし

2月1日を基準に、県下一致に農業基本調査が行われます。調査員が農家の皆さんのお宅にお伺いして、世帯員の状況や、経営耕地労働状況、農業機械、農産物等について聞きとり調査を行いますので、洩れなくご回答くださるようご協力願います。お伺いして聞いたことを他に洩らしたりすることを決してありません。県や、市町村の行政の基礎資料になる農業基本調査に皆さんのご協力をお願いします。



### —住民実態調査—

## 農業基本調査も 実施

から20日の間に調査員がみなさんの家庭に伺いますので、ご協力くださいますようお願いします。調査するところは、住所、氏名(読み方)、生年月日についてまちがいかないかどうかを確認します。

なお、この調査結果はコンピュータに記録され、選挙、年金、福祉、教育などの事務に利用されます。

## 写真をどうぞ

広報にゅうぜんに掲載されている写真で、欲しいものがあればさし上げます。ただし白黒に限る。

希望者は役場企画財政課、広報の係へどうぞ。

(72-1100内線57番)

## 水田利用再編対策とは

国民の米消費の減退と米生産の安定多収化により、古米が増えてきたため食糧管理会計はパンク寸前となっていますが、一方では麦、大豆など米以外の農産物は大部分を外国から輸入しています。このため国では、米の生産を調整し、あわせて不足している農産物をつくり、食糧の総合自給力を養おうとするものです。

日本人の主食である米は、生産技術の向上と全国的な好天に恵まれたことなどから、昨年は約1千310万トンの収穫があつたものと見込まれています。しかし半面、わたしたちの家庭でもみられるように米の消費量は年々少なくなっています。そのため、政府のかかえる在庫米は、このままでは今年の秋に460万トンを超えるものと予想されます。

古米  
400  
万トンに

## 257・7haを配分

ます。ところが、一方では麦、大豆などはその大部分を輸入しているのが現在の日本の食糧自給の実情です。

	転作目標面積	水田面積に占める割合
全 国	391,000ha	13.4%
富山県	5,990ha	8.7%
入善町	257.7ha	6.3%

(転作目標面積には土地改良通年)  
(施行面積を含む)

転作面積は  
3年間固定

国では、今年から10年間にわたり水田利用再編対策による米の生産調整を行いますが、このうち55年までの3年間を第1期として転作目標面積を固定する方針で、この期間中に生産を調整(減反)しようとする米の量は、毎年全国で170万トンを計画しています。

## 町の基本的な考え方



実施するのではなく、輸入に頼つている農作物を増産しようとのねらいもあるため、大豆、麦、そば、てん菜、飼料作物を特定作物と定め、果樹などの永年作物と共に奨励金を高くし、豊作貧乏になりがちな野菜などは低く抑えられています。また地域ぐるみで行う集団的な転作には、計画加算金が上積みされるのも特色です。

- ① 今後とも良質米の供給基地としての地位を守ることを基本とする。
- ② 食管制度を堅持するという観点から、これを受け入れざるを得ない。
- ③ 一時しおぎの転作ではなく、新しい農村づくりの一環として全農家の理解と合意によつて、中核農家を中心地域ぐるみの転作を進める。
- ④ 単純休耕は、水田の荒廃した例もあり、今回は避ける。

以上の基本線に立ち、本町における第1期(53~55年)の重点作物は、流通上安定性の高い麦、大豆、飼料作物とします。

## 大豆や麦を集団的に 転作を有利にするには

右の表のように、本町に指示された53年度の転作目標面積は、県の平均から較べれば相当低い転作率となっていますが、この面

## 転作等奨励金額 (10a当り)

作物名	基本額	集落計画加算金	合計
特定作物 永年作物	60,000円	12,000円	72,000円
一般作物	45,000円	8,200円	53,200円

(※転作率6~8%、水稻の10a当り基準収穫量520kgの場合)

## 転作しない人に 限度数量で減量

具体的には、各農家の転作目標面積の集積をもつてその生産組合の転作目標面積とした集落計画を樹て、その半分以上が、1ヘクタール以上、または1~2の地縁的なまとまりに集團化されて転作された場合には、その生産組合に属する人の転作実施水田について、10アール当たり特定作物で1万2千円、一般作物で8千200円加算されます。

## 種子は確保

大豆については6トンを準備するため手配済みですが、麦については今年に限つて、この秋に播くものでも、53年度の転作対象となりますが、今秋には確保できる見込みです。

水田利用再編対策についての細かいことは、まだ明らかにされていませんが、今月末か2月早々に個人あてに転作目標面積を指示しますので、くわしくは町の農政課か農協にお問い合わせください。



## よいお正月を

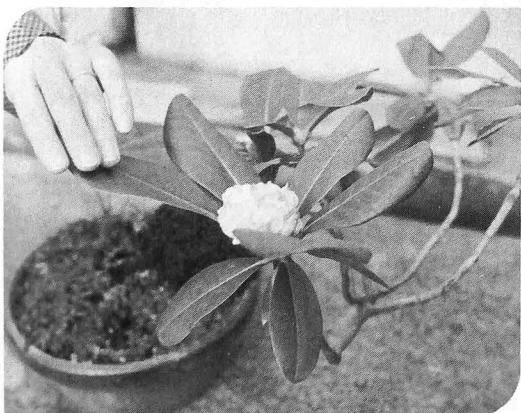
町食生活改善推進協議会では、12月15日に会員の手づくりのごちそうを持って、町内の1人ぐらしのお年寄りの家庭を慰問しました。小林みねさん方を訪問する谷雪枝会長ほか会員のみなさん。



## 版画でおめでとう

「手づくりの年賀状で新年のあいさつを」と、中央公民館では年賀状版画教室を開きました。約20人の受講生のうち、経験者はほんの数名で、慣れない手で彫刻刀をふるいましたが、出来ばえはなかなか見事。

(12月7日)



## 冬にシャクナゲ!?

暖冬異変のためか、各地で季節はずれの花だよりが聞かれますが、入善17区の西野忠市さん宅ではシャクナゲがかわいい花をつけ話題になっています。



## 匿名で善意の寄付

12月19日、役場福祉課に中年の男性が訪れ、「恵まれない身障児のために」と百円玉から1円玉まで、合計6万7,875円もの小銭を寄付して行かれました。さっそく町善意銀行に預託されました。

## 施設訪問⑨

今月は、冬にもかかわらず熱帯の草花が咲き乱れるフラワーセンターを、青木地区花と緑の銀行頭取である松田太吉さんに訪問していただきました。



## 利用案内

開園時間 午前9時~

午後4時30分

入園料 無 料

休園日 毎週火曜日

祝日の翌日

**入善町フラワーセンター**

電話 72-11603

等の技術指導も行われています。

隣のコミュニティセンター

を見  
て、フラワーセンター

の敷地に入  
ると、先

ず目につく  
のは花壇と

花時計です。

それから北

陸一の内容

を持つ観賞

温室に足を

運ぶと、中

には熱帶植

物、亜熱帶

植物が勢い

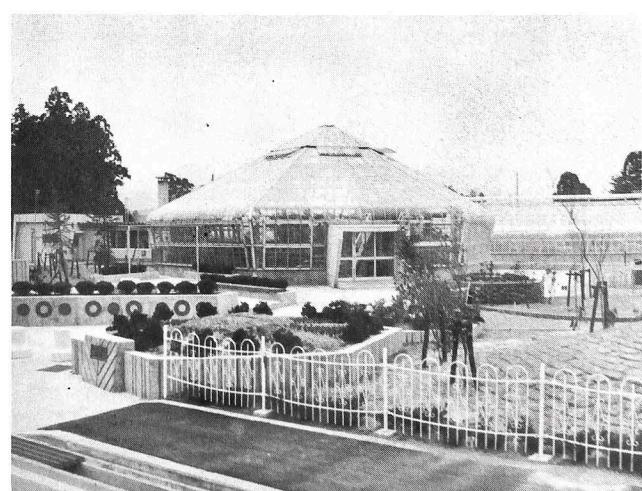
良く生育し

ています。

全面ガラス張りのこ



たわたわに実った三尺バナナ



第30回成人式(1月15日)

9時30分開式ですが、9時ま  
でに受付を終えてください。

の温室は約60坪余りで、頭上にはブーゲンビリアの花で一杯あります。高温と熱気でムンムンしていて、モンステラやヤシの新芽が緑を一層輝かせています。下には池があり色とりどりの錦鯉が遊泳して来ます。訪者の心を安らげてくれます。

統いて隣にある植栽用温室に足を運んで見ると、約100坪の室内の段上にここでつくられた鉢物草花がすらりと並んでおり、中でもベ

今年も2月から3月にかけて園芸教室を予定しているそうですので、ぜひ参加してくださいとのことです。

先日、家族連れでフラワーセンターを訪ねてみました。場所は南部コミュニティセンターの隣で、北側では統合黒東小学校の建設工事が始まっています。

公園都市を宣言する入善町が、花と緑をとり入れた地域緑化を推進し、町民の快適な生活環境を願つて設置されたものです。ここでは、花苗の生産、緑化の啓蒙、花と緑の展示、園芸相談等が業務であるが、花苗、緑化木を生産し、町内各地の公園や施設に供給して花と緑の啓蒙につとめ、観葉植物や草花を栽培展示して町民の観賞に供するほか、児童生徒の植物の生態観察に大いに活用されています。

また、町民の花卉園芸に関する相談や花の育苗管理、草花の繁殖

コニアの色ど  
りとシクラメ  
ンの花が目を  
引きます。

これらは全  
て、ミスト繁  
殖装置によつ  
て行われたも  
ので、作業管  
理室、肥料農  
薬庫、ポンプ  
ボイラー室な  
どが併設され  
ています。

## スキー教室開きます

### ●親子スキー教室

会場 入善小スキー場

### ●少年スキー教室

会場 上原小スキー場

鶴山小スキー場

横山小スキー場

開講は1月中旬の予定ですが、雪の状態もありますので、くわしい日程は各小学校へお問い合わせください。

わが国では、20歳になつたら原則として誰でも何らかの年金制度に加入することになつています。

会社や工場で働く人は厚生年金

公務員等は共済組合、船員は船員保険、そしてそれ以外の農業や漁業、自営業の人は必ず国民年金に加入しなければなりません。

厚生年金や共済年金はそれぞれの職場で手続きが行われます。ところが、個人個人を対象とする国民年金は、20歳になつたら自分で加入の届出をしなければなりません。

年金という、若い皆さんは「歳をとつたときのものだから自分には関係がない」といわれるでしょうが、決してそうではありません。年金は思いがけない災難などでケガをしたときや、母子家庭

## 20歳になつたら 國民年金

（4月からは2千700円）このほかに400円多くかけることによって将来より多い年金を受けられる付加年金もあります。

いざというときのために、そして老後のためにぜひ20歳になつたら國民年金に加入を。

### 受給者は

### 現況届を提出

國民年金の老齢年金を受けていたり、毎年1回「國民年金受給権者現況届」を提出しなければなりません。

届出用紙は1月中旬に直接本人あてに送られてきます。届出の期限は2月15日までで、届出をしないと6月からの年金を受けられなくなりことがあります。

ただし、お手元の年金証書の裁定年月日が、昭和52年2月15日以後の場合は提出の必要がありませ

ん。現況届の用紙が届かないときまたわからないことがありますから、役場國民年金係へおたずねください。

（電話72-1100内線24番）

## 昭和53年度の 請負工事等の指名参加願

受付締切り 2月末日

様式……統一様式

提出先……入善町役場企画財政課

## ●○●○新春囲碁将棋大会●○●○

◆期日 1月8日(日)  
午前9時から  
◆会場 中央公民館 和室  
◆会費 1000円(中食代を含む)

### 囲碁の部

◆期日 1月22日(日)  
午前9時から  
◆会場 中央公民館 和室  
◆会費 1000円(中食代を含む)

## 入善町 酪農婦人グループ



酪農婦人グループは、酪農組合員の主婦が集まり、昭和48年に結成されました。町の酪農は牧場や草原を持たない水田酪農で、経営規模も年々大きくなっています。いまが、労働力はほとんど家族労働で賄っています。そのため主婦も、一人の酪農技術者として重要な役割が求められています。

グループでは、毎月1回欠かさず例会を持つて研修しています。

グループでは、毎月1回欠かさず例会を持つて研修しています。

その中からで来たのが、家族の生活時間の適正化と健康管理です。

会長の大田恵津子さんは、「受賞は私たちにとって大きな励みです。これからも、主婦の立場から酪農経営にプラスになるよ

う学習を続けていきたい」と話しておられます。

## 農村文化賞を受賞

理という問題です。

酪農作業は、朝早くから夜遅くまで作業があり、どうしても睡眠時間が不足がち。グループでは、まず生活時間の実態調査から始め、組合全体の問題とし

て取り組みの輪を広げ大きな成果を上げました。

この活動が認められ、昨年は富山県農村文化賞を受賞されました。

会長の大田恵津子さんは、「受賞は私たちにとって大きな励みです。これからも、主婦の立場から酪農経営にプラスになるよ

う学習を続けていきたい」と話しておられます。



## 木根川原恵美子

県教育委員会の主催で行われた婦人国内研修に、町婦人会代表として参加させていただきました。今年の目的地は四国で、名産伊予柑、甘夏にちなんでこの研修会は「オレンジ行脚」と名付けられ県内各地から16名が参加しました。それぞれ研修テーマを胸に、不安と期待の入りまじった複雑な心境で、8月

22日に富山を出発、第1研修地香川県へ

とむかいました。

最初の訪問

地は人口1万3千人の香川県丸町で、ここでは教育委員会の助成で各年代に合った学級が開かれています。

現在、婦人のボランティア活動に力を入れ、中でもゴミを少なくする運動を進めているそうです。そのほか、身障者の御世話や老人ホームへのおもつの提供、老人に取り組んでいるとのことでした。何をするにも調査が一番大切で、調査してまとめたことは必ず実行することが大切だと言つておられました。

最後は高知婦人連絡協議会との新しい市婦連で、入善などは形態がちがうためあまり参考にはな

りませんでした。各地の婦人会の方々との交流で、婦人会長をやめられた方がリーダーとなつて、婦人会と協力しながら学級を進めておられたことでした。

また婦人会長の任期は最高2期までと決め、若い会長が常に新しい考えを取り入れて活発な活動を進めていることを誇りとしておられました。

第2研修地は松山市で、松山市は公民館が中心となって社会教育活動が進められており、市の職員が各地区的公民館主事となって、婦人会の協力で事業が行われています。

現在、婦人のボランティア活動に力を入れ、中でもゴミを少なくする運動を進めているそうです。

そのほか、身障者の御世話や老人ホームへのおもつの提供、老人に取り組んでいるとのことでした。何をするにも調査が一番大切で、調査してまとめたことは必ず実行することが大切だと言つておられました。

最後は高知婦人連絡協議会との新しい市婦連で、入善などは形態がちがうためあまり参考にはな

りませんでした。各地の婦人会の方々との交流で、婦人会長をやめられた方がリーダーとなつて、婦人会と協力しながら学級を進めておられたことでした。

各地の婦人会の方々との交流で、婦人会長をやめられた方がリーダーとなつて、婦人会と協力しながら学級を進めておられたことでした。

書が配布されたらすぐ記入の上、生産組合長に提出してください。もし提出されないと選挙人名簿に登載されないことがあります。

## 選挙人名簿に登載される条件

1 昭和53年1月1日現在入善町に住所があり、3月31日で満20歳以上の方

2 右の方で、10アール(1反歩)以上の農地で農業を営む方(農耕主)、もしくは、その同居の親族またはその配偶者で、年間おむね60日以上耕作等に従事する方。

納税は便利で  
確実な口座振替で  
口座振替納税の手続きはすみやかに。  
いきます金融機関等で手続きをしましょう。

今年は農業委員選挙  
選挙人名簿の申請を

農業委員会委員の選挙人名簿は毎年、農家のみなさんから登載申請書を提出いただいています。

今年は特に農業委員会委員の選挙が行われる予定ですので、申請

## 人権法律相談

1月10日(火)

午後1時~4時

場所 入善町中央公民館

秘密は固く守ります

車の路上放置は除雪の障害に





# 1月の保健行事

お正月  
薬のむより体力づくり  
暴飲暴食は健康の敵

○印のついている行事に出られる人は母子手帳をお持ちください

行事名	対象者	実施日	受付時間	対象地区	実施会場	備考	
○6か月児検診	S52.7月生まれの乳児	17日					
○3か月児検診及び股関節脱臼検診	S52.9.22~52.10.25までに生まれた乳児	26日					
○1歳児検診	S52.1月生まれの乳児	13日				医師による検診 お母さんと一緒に来てください	
○2歳児歯牙検診	S51.1月生まれの幼児	25日					
○3歳児検診	S49.8月生まれの幼児	27日				医師による検診 安産体操、妊娠中毒症	
離乳食実習指導	5、6、7か月児	23日					
○母親教室及び妊婦検診	妊婦全員	24日					
家族計画相談	希望者	14日	午前 9.30~11.00				
成人病相談 (高血圧者食事実習)	30歳~64歳	11日				血圧手帳のある人は持つて来てください	
成人病検診		18日	午後 1.30~2.30			貧血検査 医師による検診	
○保健相談	乳幼児、妊婦、成人病	10日		野中、舟見	舟見支所		
健 康 体 操	肥満の人 肩、腰の痛む人(女性)	毎週 火曜日	午前 9.30まで集合	全 地 区	健康センター	火曜日は60歳以上の者	
		毎週 水曜日				運動のしやすい服装で来てください 初めての人は第1水曜日に来てください	
		第2.4 月曜日					
機能回復訓練	脳卒中後遺症者	12日	午前 午後 10.00~3.00	全 地 区	健康センター		
		19日					
百日咳、ジフテ ○リア、破傷風3種混合予防注射	第1期(3回完了していない幼児) S49.9.1~50.8.31までに生まれた幼児 第2期 S49.3.1~49.8.31までに生まれた幼児 (但しS51.12月までに第1期の接種が完了した幼児)	20日	午後 1.30~2.30	全 地 区	健康センター	当日の朝家庭において、必ず体温測定をしてきてください 有熱者、その他の疾患のある幼児は健康状態の良い時に受けましょう 問診票に印かんがいります。忘れず持参してください	
		31日	午後 1.30~2.00				
				舟見、野中	舟見支所		

## 不燃焼物の収集を休みます

1月と2月は除雪作業のため、不燃焼物の収集を休みます。

一般ゴミは1月5日から、し尿は1月9日から平常通り収集します。

ゴミは必ず除雪が終ってから出してください。

1月の当番区
1日 森 医院 TEL 72-0401
2日 加瀬 医院 TEL 72-0339
3日 宝田 医院 TEL 72-0078
8日 中川 医院 TEL 72-0336
15日 泉 医院 TEL 72-0125
22日 米沢 医院 TEL 72-0039
29日 柚木三 医院 TEL 72-0120
診療時間 午前9時~午後5時

入善町消防署(72-0135)へ  
問合せはあります。  
当番医の都合で変更することがあります。